

難局に直面するドイツの政権交代

～メルツ次期政権は、ドイツと欧州の安保・
経済上の危機を乗り越えられるか～

令和7年4月 前駐ドイツ大使 柳 秀直

2月23日の選挙前のドイツ

- ◆ 中東・北アフリカ等からの難民が毎年20万人来ていた上に、ウクライナから100万人を超える避難民が流入。自治体の悲鳴、難民によるテロ等の中で極右政党が台頭。
- ◆ ロシアのウクライナ侵攻以降、ロシアからのエネルギー輸入を止めた中で脱原発を強行→エネルギー価格が高騰→インフレ→2年連続のマイナス成長
- ◆ 基本法上の厳しい財政規律(国債の発行をGDPの0.35%までしか認めず。憲法裁判所の訴求効果を持つ判決等)
- ◆ 一期目のトランプ政権との関係が悪く二期目も不安視。

連邦議会選挙と最新の世論調査の結果

	連邦議会選挙得票率	前回との比較	獲得議席数	4月3日の調査	前月との比較
キリスト教民主・社会同盟	28.6%	+ 4.3%	208 (164・44)	26%	- 3%
ドイツのための選択(AfD)	20.8%	+ 10.3%	152	24%	+ 3%
社会民主党	16.4%	- 9.2%	120	16%	0%
緑の党	11.6%	- 3.0%	85	11%	- 1%
自由民主党	4.3%	- 7.0%		4%	+ 1%
左派党	8.8%	+ 3.8%	64	10%	+ 1%
ワーゲンクネヒト同盟BSW	4.97%			4%	- 1%

得票率 82.5% (対前回比+6.1%) 全議席数630

前駐ドイツ大使 柳 秀直

3月21日の基本法債務ブレーキの改正

- 2009年基本法を改正し国債の発行をGDPの0.35%しか認めず。
- 新議会のAfDと左派党による、ブロッキング・マイナリティを回避
→ 新議会の招集前に、緑の党と3分の2で改正を強行。
- インフラのため5千億ユーロの特別基金(1千億は気候保護)
- GDPの1%を超える国防予算は債務ブレーキの例外に。

前駐ドイツ大使 柳 秀直

緊密化する日独関係

政治安保

経済

- ロシアのウクライナ侵攻後、政治・安保関係は緊密化。
- 第一回政府間協議を含め、独から要人がかつてないほど訪日。
- 独連邦軍は海・空・陸軍の訪日が続く。
- コロナ、ロシアの侵攻以降、ドイツ人の多くは中国に幻滅。
- ドイツ経済の苦境は日本企業にとりチャンス。
- 独の日系企業数は英仏を合計したより多い(二千弱)。

前駐ドイツ大使柳 秀直



独仏英の日系企業拠点数の比較(5年ごとの推移)



日系企業拠点数	2012年	2017年	2022年	2023年
ドイツ	1,527	1,814	1,918	1,947
在独大	67	81	114	124
在デュッセルドルフ総	525	622	639	636
在ハンブルク総	127	122	129	139
在フランクフルト総	225	287	298	304
在ミュンヘン総	583	702	738	744
英国	1,083	986	955	928
フランス	631	719	794	820

出典: 外務省海外在留邦人数調査統計、海外進出日系企業拠点数調査

【参考】在独日系企業拠点数推移

2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
1,444	1,437	1,446	1,527	1,571	1,684	1,779	1,811	1,814	1,839	1,870	1,896	1,934	1,918	1,947